

自然災害などによる停電リスクに備える 補助金を活用した非常用発電機導入事例

社会福祉法人 **自生園**さま (石川県小松市)

様々なリスク対策が経営には求められている

近年、新型コロナウイルスの流行や自然災害の頻発・激甚化していることを背景に、2024年4月から医療機関と同様に介護施設・事業所でもBCP策定が義務付けられています。これをきっかけに「社会福祉法人 自生園」では当協会の「SmartH・総合防災サービス」を通して非常用電源設備を導入されました。2024年は令和6年能登半島地震が発生した年でもあり、高島総務部長は災害ボランティアの際、現地の状況を目の当たりにしたことが導入への判断に大きく影響したと語ります。その経緯や今後の活用についてお話を伺いました。



社会福祉法人 自生園
総務部 事務長 高島 健さん

能登半島地震で現地支援、非常用電源の必要性を実感

最初に北陸電気保安協会さんから定置型発電機設置による非常用電源確保のご提案をいただいたのは2022年頃でしょうか。BCP策定が義務付けられることもあり、その実効性を高める手段として導入のお話がありました。非常時の電源確保の必要性は十分認識していましたが、導入費用を考えるとまずは無理なく出来る手段・範囲での対応も選択肢としてありました。しかし、その気持ちが大きく変わるきっかけとなったのが能登半島地震です。多くの介護施設が被災し、私たちは災害福祉支援チームDWATとして現地支援を行いました。現地での状況を目の当たりにしたことで、非常用電源確保は優先すべきと強く感じ、速やかな導入を決断しました。大災害時に関わらず停電は発生します。電気が使用できないことで人命への影響が出ないとは限りません。当施設は地域の福祉避難所でもあるため、その責任を果たす義務がありますので、実際に導入した今は、他ではまかなえない安心感があります。

夏の猛暑を想定、ガスを燃料とした空調も確保

導入にあたり、絶対条件としたのが停電時に3日間の必要電源は供給出来ることです。全エリアで電源確保は難しいと判断し、それでも能登での震災を教訓に電源供給可能な範囲を当初計画より拡大し、養護(盲)老人ホーム、特別養護老人ホームの本館・新館にLPガス非常用発電機をそれぞれ設置することにしました。また冬の寒さ以上に、昨今の夏場の異常な暑さには入所者は耐えられないと想定し、選定した共用エリアにGHP(LPガスで駆動する空調システム)の設置もすることとしました。長時間の停電が予想される時は、寝たきりや室温管理が必要な入所者は共用エリアへ移り、介護する計画としています。ガスは長期保管が可能でし、普段から使用している燃料でもあります。食事の面でも停電時でも一部の厨房機器が稼働でき、冷凍保存している料理を調理して提供できます。

補助金に採択、導入コストの約半分をカバー

まず今回は非常用発電機導入に補助金が利用できることは大きな後押しとなりました。

北陸電気保安協会さんには、発電機がカバーするエリアや使用設備の検討から、GHP設置と従来からあるEHP(電気で駆動する空調システム)の使い分け、コンセントの位置までベストな環境を整えるための助言をいただきました。停電時には電源切替盤で利用できる電源範囲を切り替えますが、職員間で共有できる操作対応などのマニュアル作成や防災訓練などを通じて非常時の動きを確認、対応熟度



をあげ、緊急時に備えたいと考えています。導入にあたり、令和6年度自衛的燃料補助金(経済産業省)に採択され、北陸電気保安協会さんをお願いすることが決定。対象費用の2分の1を補助金で賄うことができました。

地域になくてはならない福祉施設であり続けたい

高齢化社会が進み、福祉施設の重要性はさらに増してくるでしょう。私たちは社会のニーズを敏感にとらえ、地域の皆さんに必要とされ続ける存在でありたいと思っています。これまでもITやIoTを導入し、介護サービスの向上に取り組んできましたが、さらなる成長を目指し、2025年には10年ビジョンプロジェクトを立ち上げました。今後もDX化やハード面での修繕、職員の成長を通して、入所者と介護者双方が安心して過ごせる環境を整えていきたいと考えています。

近年、各地で地震や土砂災害などが発生し、“万が一のこと”がいつ起こるかわからないと感じています。今回、非常用電源を導入できたことは命を預かる施設として大きな安心が得られたと思っています。北陸電気保安協会さんには今後も私たちの課題解決と成長に寄り添っていただければと思います。

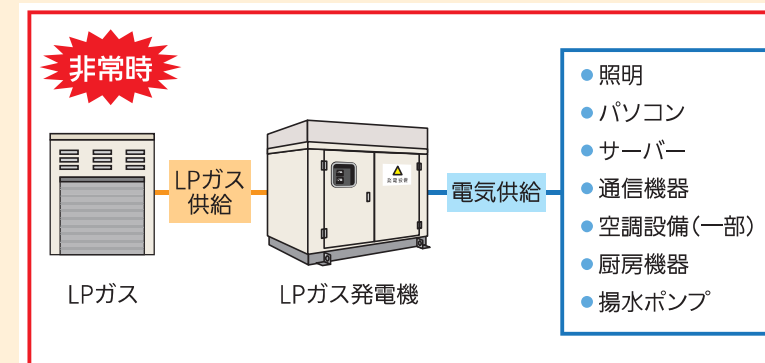


LPガス発電機

今回導入した非常用電源設備 (BCP対策)

〈設備概要〉

- ・BCP対策用LPガス発電機 54kVA 3台
- ・LPガス供給設備 (※LPガスボンベにて貯留)
- ・電源切替盤 3基
- ・GHP 室外機1台 室内機5台



〈スケジュール〉

- | | |
|----------|-------------------------|
| 2022年10月 | 北陸電気保安協会より非常用電源確保の提案 |
| 2023年3月 | 設置エリアの選定など希望内容をヒアリング、検討 |
| 2024年1月 | 能登半島地震を受けて、照明など追加の提案 |
| 2024年9月 | 補助事業の採択を受け、当協会が受注 |
| 2024年10月 | 工事開始 |
| 2025年1月 | 工事完了 |

社会福祉法人 自生園 (石川県小松市)

真言宗別格本山・那谷寺を設立母体として、1981年に開設。「困っている人を助けたい」という慈悲の心を大切にし、実践する社会福祉法人です。目が不自由な方を対象とした石川県内唯一の養護(盲)老人ホームのほか、特別養護老人ホーム、グループホーム、多機能サービス(好楽庵、為楽庵)などがあり、通所介護・ショートステイ、訪問入浴介護にも対応しています。近年ではITやIoTを使った先進的な介護サービスを行い、利用者と介護者がともに快適に過ごせる介護環境を追求しています。



〒923-0331 小松市上荒屋町4番地10

【TEL】0761-65-1800 【FAX】0761-65-1837

【URL】<https://jishoen.com/>